

# YMFfg

2025 VOL.09

from  
北 山  
九 広  
州 島  
県 県

LOCAL  
ISSUE

この世界で。この街で。このじぶん。



## はじまりの海

*(beginning)*

古きものの挑戦 | オイスターヒーロー  
フレッシュな島観光 | 港の新拠点



# じぶんの物語を つまらなく感じたとき。

地方都市 に生まれた。  
じぶんにとっては、真ん中だった街。

地方 と 意識したのは  
いくつものときから だったのか。  
世界の 果てしなさを 知ったとき？  
じぶんの物語を つまらなく感じたとき？  
ああ そんなことは  
誰にもあるよと、 人は言う。

それから いろいろありまして。  
いま、 地方 と 世界は 近くなった。  
きもちの問題 ではなくて、  
望めば動けばそうなる 可能性。  
望んで動く ことが  
リアルに大事に なってきた。

地方都市 という 言葉の響きさえも、  
新たな響きへ。 さあ どう生きる。

この世界で。  
この街で。  
このじぶん。

山口銀行 もみじ銀行 北九州銀行

**YMfg**

YMFGが思い描く「地域の豊かな未来」を共有するために、この街に存在する、あしたを託したい、あしたを照らしてほしい人や取り組みを紹介します。

三都の海では今、  
こんなことがはじまっています

PO6

[北九州]

古きものの挑戦

創建1800年、和布刈神社のチェンジ

P12

[広島県]

オイスターヒーロー

広島牡蠣の未来をつくる3社の取り組み

P18

[山口県]

フレッシュな島観光

島じゅうがキャンパス!「周防大島高校」

港の新拠点

P11 北九州 | 小倉昭和館

P17 広島県 | 下瀬美術館

P23 山口県 | ABUキャンプフィールド

P24 YMfgのあした考 第4回 [はじまりの背中を押す]

連載

P26 あしたのランチ何食べる?  
[北九州]とんかつ藍/[広島県]すし亭/[山口県]ひら田

P27 SPECIAL INTERVIEW | 松田亜有子さん  
[関門海峡ストリートピアノ お披露目コンサート]

P28 三都の雑貨物語

P29 ラブレター from

P30 YMfg あした新聞



COVER

栗原 恵 (くりはら めぐみ)

小学4年の頃、地元・能美島(現・江田島)でバレーボールを始める。2002年、日米対抗で代表デビュー。「プリンセス・メグ」の愛称で親しまれ、バレーボール人気に火をつけた。19年に現役引退。現在はキャスターとして活動の幅を広げている。

PHOTO\_ 福田喜一

(beginning)

新しい何かがはじまる——海にはそんな期待をさせるエネルギーがあると思いませんか。海外との玄関口であり、九州と本州を結ぶ交流の場でもある海の側では、常に何か新しいことが始まろうとしています。もしかすると、気づいていない何かがもう始まっているのかもしれない。今回の特集では、YMFGがそんなイノベーションや新しい価値創出の芽を探しにいきます。



はじまりの海

毎日のように通った海。  
どの時代も支えてくれた、  
原点といえる場所です

バレーボールをはじめたのは江田島のスポーツ少年団でした。当時、そこで監督をしていた父とは怖くてあまり話もできませんでしたが、入鹿海岸の海で、二人で無心になって泳ぐ時間はとても特別で、唯一仲良く過ごせる場所だった気がします。緊張するとこの海を思い出して、一呼吸おくことが私のルーティンでした。本当に私の原点なんだと感じています。

この島から日本代表が出るとは誰も想像しなかったと思います。でも、どこに住んでも、秘めている可能性は全く変わりません。「江田島の栗原にできたなら、私にも」と無限の可能性を持ってほしいですし、そう伝えていきたいと思っています。



YMfgの公式Instagramでは限定インタビューも掲載。更新をお楽しみに!



入鹿海岸の夕日はすごく綺麗で、今も時間が合えば家族と見にいきます。心がほっとする、大切な場所です。



海葬ってなに？

仏教伝来以前の古代日本で行われていた、亡くなった人を小舟に載せて海に流す弔いの手法を、現代に蘇らせたもの。一般には海洋散骨ともいわれる。

- 出港
- 清祓の儀  
神主が故人の御霊を清める
- 散骨の儀  
ご遺骨に献花・献酒を添えて、海にお還しする
- 帰港

チェンジ①  
古くて新しい  
葬儀を始めた。

なぜ神社が「変わった」のか

# ピンチをチャンスに! 創建1800年、 和布刈神社のチェンジ

九州の最北端に建ち、創建1800年の由緒ある和布刈(めかり)神社。目の前に関門海峡が広がり、古来、海と深い関わりを持ち続けてきた。いまこの神社がさまざまな挑戦に取り組んでいる。挑戦の中心にいるのは、32代禰宜の高瀬和信さんだ。古の葬儀の方法である海葬(海洋散骨)を再び始め、由緒に基づきコンセプトを整理。さらに神社の人材不足の解決のために、異業種人材の雇用も行っている。神社にとどまらないビジネスのヒントに満ちた挑戦の数々取材した。

PHOTO\_ 穴見春樹 TEXT&EDIT\_ 浅野佳子

和布刈神社  
福岡県北九州市門司区門司3492  
TEL: 093-321-0749  
www.mekarijinja.com

和布刈神社  
32代禰宜  
高瀬和信さん  
1985年福岡生まれ。  
2009年より和布刈  
神社に奉職。日々の収益  
を安定させる施策とし  
て、2014年に今後の  
弔いの形の变容に対応す  
べく「海葬(海洋散骨)」  
を開始。「神社があるへ  
き姿」(ヒキイロ)を  
掲げ、創建の由緒に基づ  
きコンセプトや神紋、授  
与所などを新装。

**Q** 神主さん、どうして  
いま多くの人が  
海葬に心惹かれて  
いるのでしょうか？

**コンビニよりも多い  
神社存続の危機**

そもそも海葬復活のきっかけは、32代禰宜の高瀬和信さんが、先祖代々守ってきた和布刈神社に入社したことだった。高瀬さんは、多くの神社同様、初詣の期間に収入を依存し、それを12等分してやりくりする状況に危機感を募らせる。さらに日本中にある8万8000社の神社（これは全国のコンビニの店舗数よりはるかに多い）が存続するにはどうすればいいかを考え始める。一説には、2050年までに3万あまりの神社仏閣が消滅するという予測もある。なぜ、神社が続いた方がいいと考えたのだろうか。

「神社がなくても生きてはいけるかもしれない。しかしなにか不安があったときに、心よりどころとなる場所があったときに、それは大切だと思いました。神道は日本人の生活や心とよく合います。すべてのものに八百万の神が宿っている感覚は、多くの方にとってしっくりくるものではないでしょうか。神社はこれまで子どもたちの成長など人生に寄り添う場所であり、お祭りなどによって地域をつ



**少子高齢化社会の  
用いのあるあり方**

その一環として取り組み始めたのが、海葬である。2014年以来申込みは口コミで増え続け、これまでに供養したご遺骨は3000柱に及ぶ。海と関わりがあった人だ

なく場所でもありました」と高瀬さん。場所として変わらずあり続けるために、自分たちが変わらなければと決意する。

「少子高齢化が進み、いわゆる独居状態の人の中には、自分の死後のことを自分で心配する人がいる。先祖の墓じまいをして、自分は海葬を希望する人もいる。また申し込みの6割が、夫の家の墓に入ることに違和感を持つ女性だというのが興味深い。高瀬さんによれば「よく、残される方に負担をかけたくない、お墓を守り続けることが難しくなった」というお話をお聞きます。今

**日本人は「自然に還る」ことを  
ポジティブに感じます。**

の日本が直面している社会課題を、海葬が解決している一面があるようです」と話す。

また、自然に還ることにポジティブなイメージを持つ人も多い。「故人たつての希望を叶えることができてよかった。のびのびとした気持ちになり、自分もこのような弔れ方をしたくなった」と話す家族もいると高瀬さん。

海葬は、家という単位ではなく、一人ひとりを扱う感覚が強い。日本古来の供養に立ち返ろうとした試みは、思いがけず現代人の感覚にフィットした。現在高瀬さんは、全国の神社でも同様の終活に取り組めるよう、ノウハウを広める事業も始めている。

**A** 社会の価値観が  
変化している  
タイミングだから  
だと思えます。

**チェンジ②  
自分たちを  
再発見した。**

**季節を感じる  
すすき 真鍮の  
一輪挿し付  
(1500円)**

月の神様を御祭神とする和布刈神社では、月の満ち欠けによる旧暦に従って、四季を感じる縁起物を準備している。※季節により異なる

**「福」を呼ぶ  
一年幸ふくみくじ  
(300円)**

神社の目の前に広がる関門海峡はふぐで有名。この地域ではふぐは「ふく」と呼ばれ、縁起物として大切にされている。



**潮の満ち引きに由来する  
満珠(まんじゅ)御守  
(1000円)**

潮の満ち引きを操る、御神宝にあやかった御守。健康や繁盛など、満たしたい願い事に「満珠御守」。反対の願意の「干珠御守」もあり。



**和布刈神事にちなんだ  
献上わかめ  
(500円)**

毎年旧暦の元日には、神主が海からわかめを刈り取る「和布刈神事」が行われている。その神事にちなんだ縁起物。



**四季の自然を感じる  
御朱印  
(500円)**

旧暦に合わせた季節ごとの御朱印。日本人が生活の中で大切にしてきた、自然を感じる心を表現している。※季節により異なる

は西に面して建つため、西の色である白を基調にしている。自分たちを再発見するこの過程は、和布刈神社のあるべき姿に立ち返るのに不可欠だった。自分たちがもともとどのような役割を担っているかがはっきりして初めて、なにをなすべきかが明らかになってきた。

高瀬さんはアートディレクターとともに、改めて神社の由緒や歴史をひもとき、ビジュアルアイデンティティを整える作業を行った。「新しく作るのではなく、古い資料やこの立地、長く続けてきた神事などを深く知って整える作業でした」。それを元に、ロゴや神紋、授与品をデザイン。和布刈神社

# 港の新拠点

## 小倉昭和館

福岡県北九州市小倉北区魚町4-2-9  
 TEL：093-600-2923  
 JR小倉駅から徒歩約8分  
 モノレール且過駅から徒歩1分  
 西鉄バス停紺屋町より徒歩1分  
 Instagram：@kokura\_showakan1.2



人と文化が行き交う港町。ここで育まれた文化や歴史に新たな意味を与え、未来へとつなぐ新しい拠点を紹介します。

### 1

#### 福岡県最古の映画館 火災からの復活

2022年、北九州の台所・且過地区が火災に見舞われ、小倉昭和館が全焼したことは大きなニュースとなった。多くの映画ファンから福岡最古の映画館の復活を望む声が寄せられる中、館主である樋口智巳さんはこのまま閉館させるべきか悩んだ末、再建に取り組むことに。クラウドファンディングは、目標を大きく超えて4000万円以上を集める。

### 2

#### みんなが作った みんなのための映画館

再建された小倉昭和館の椅子の背もたれには、そうそうたる映画監督や俳優の名前が。応援してくれた人たちの名前を縫い込んだものだ。多くの備品にも、協力してくれた個人名や会社名が刻み込まれている。「火事前は、私は3代目館主としてここにいましたが、再建した後は、みなさまの映画館に仕えている感覚です」と樋口さん。

### 3

#### 映画、だけじゃない お楽しみはこれから!

関連性を持たせた2本立ての上映や、映画を見た後感想をしゃべる場が欲しい!という声に応えたシネマカフェなど、独自の興行に取り組んでいる小倉昭和館。「お客さまとのキャッチボールで、楽しいことをたくさんやっていきたい」と話す樋口さんの背後には、焼け跡から見つかったネオンサインが誇らしげに輝いている。



さらに高瀬さんは、異業種から神社への就業を募り、神主の資格取得も勧めている。一般に神主の子息が後を継ぐ場合が多く、他ジャンルからの人材を受け入れていくところは少ない。なぜ異業種から人を募るのか尋ねると、「働き手が不足しているからです」と明快な答え。現在和布刈神社では中途採用の正社員5人が働いているが、前職は司書、県庁職員、アパレルなどさまざま。伊藤紗会さんは、関東の飲食店でエリアマネージャーまで務めたが、和布刈神社の求人を見て可能性を感じ、移住してきた。「神社に関わる仕事に自分が就けると考えたことがなかった」と話す。これまでの経験を元に、収益構造や福利厚生など、いわゆる「普通の会社らしく整備する仕事に取り組んでいる。新しい風を取り入れながら、核となる価値を守るために、無理なく続いていく方法を考える。これは決して神社だけの話ではない。高瀬さんの、現状を諦めるのではなく、「どうやったらできるか」を考え実践に移す方法は、手詰まりな状況にある人たちにとってのヒントに満ちている。神社がサステナブルであるために、和布刈神社が始めた挑戦は、これからもさまざまな人を巻き込みながら続く。

**チェンジ ③**  
**異業種から  
若者を採用した。**

#### 元人材紹介会社 タイ勤務 南方望さん



#### 元飲食店エリアマネージャー 伊藤紗会さん

古いものをつないでいくことに興味があり、ここなら仕事を通して叶えることができると考えました。

#### あなたは なぜ神社に?

母が葬儀社に務めていたこともあり、生活と分かちがたく結びついている、長く続いてきた仕事に可能性を感じていました。

終活や神社の消滅問題、文化の継承など、複数の社会課題に取り組んでいるところに魅力を感じています。

#### 神社で働く 喜びって?

自分のアイデア次第で、新たな仕組みを作れそうなどころにやりがいを感じています。働く場所としての魅力も生み出したい。

人々の心の受け皿であること。私たちはなにかに頼りたいときには心のよりどころが必要で、神社はその役目を果たせるとしています。

#### 現代の神社の 意義は?

しょんぼりしたときに訪れて、晴れ晴れとした気持ちになれるような、みなさまの気持ちを受け止める場所でありたいです。

# 広島牡蠣の 未来をひらく ヒーローたちの挑戦

牡蠣食う研  
と行く!

広島といえば、牡蠣。全国生産量1位を誇るこの地は、瀬戸内海の穏やかな海と豊かなプランクトンに恵まれ、470年の養殖文化を築いてきた「牡蠣帝国」です。そんな広島で、「広島を世界一おいしく牡蠣が食べられる街へ」をビジョンに活動しているのが「牡蠣食う研」のメンバーたち。広島を愛し、その可能性を追求する仲間たちの集まりです。今回は「牡蠣食う研」の大須賀あいさんとともに地域の誇りを未来へつなげる、3人のもとを訪ねました。

PHOTO\_ 亀谷透 TEXT\_ 大須賀あい EDIT\_ 佐々木好  
SPECIAL THANKS\_ 首戸海産 HIT(広島県観光連盟)



〈牡蠣食う研〉  
大須賀あいさん

開き手

エディター、ライター。(牡蠣食う研)の取材担当。好きな牡蠣料理はボン酢で食べるシンプルな牡蠣鍋。具はもちろん、スープまで飲み干す派。広島を拠点にさまざまな媒体で企画編集、取材、ライティング活動を続ける。

## ヒーロー01



株式会社クニヒロ  
代表取締役  
新谷真寿美さん

日本初!  
EUへの牡蠣  
輸出に成功



### 取引量トップクラス 牡蠣の総合メーカー

日本の牡蠣生産地として全国に名を馳せる広島県。県東部の尾道市で牡蠣をはじめとする水産品の卸しや加工さらには冷凍食品の製造販売や直営飲食店経営を事業にするのが「クニヒロ」だ。同社の売上の70%は牡蠣。牡蠣加工品であり、水産加工商社として揺るぎないシェアを誇る。一全国の牡蠣水揚げ量は2万8千トン。その中で広島が1万8千トンと国内最多。そのうち約3800トンを当社で取り扱っています」と話すのは、代表取締役社長の新谷真寿美さん。新谷さんは、県内屈指のソースメーカー「オタフクソース」に10年勤めたのち、2014年に「クニヒロ」へ入社。2019年に父からバトンを渡され、創業者の祖父の代から68年続く事業を承継。牡蠣業界のリーダーグカンパーとして、ワールドワイドで牡蠣の魅力を発信している。「三姉妹の真ん中で育ち、会社を継ぐことは一切考えていませんでした。他

ヨーロッパで広島産牡蠣が食べられている場面を想像すると胸が熱くなります。広島産の牡蠣文化はまだまだ発展の余地がありますね!



に後継者がいるだろうと思っていたんです。しかし、次第に自分が背負おうという気持ちが強くなりました。今は、社長業の大変さを身に染みて感じています」と微笑を浮かべる。そんな新谷さんが目指すのは、トップダウンではないチーム経営だ。全社視点で一緒に考えることを大切にしているという。やる気の源は、従業員の笑顔。総勢350人の従業員と日々思いの共有を図り、新鮮な牡蠣を届け、人々の食生活を支えることを使命としてひたすらまっすぐ走っている。また、クニヒロの強みは牡蠣出荷量だけではない。最もこだわるのは、徹底した衛生管理による安全性だ。案内してもらったのは、4つある工場のうち生牡蠣専用の第2水産工場。生産者から仕入れた牡蠣は、身の中まで綺麗にするため工場内の浄化プールで約2〜3日間過ごす。プールに放たれた牡蠣は、静かに、気持ちよさそうに寝ているように見えた。まるで誰かの美味しい笑顔を待っているように。

輸出を成功させたのだ。海外へのグローバル化を見越し、2010年頃からアジア圏への輸出を進めていたというが、ヨーロッパ諸国へ日本産、そして広島県産牡蠣が渡るのは初めてという。ヨーロッパの衛生管理基準であるEU HACCPも日本初で取得した。「ヨーロッパと日本では、牡蠣の味もカルチャーも違います。あちらでは生で食べる習慣が多いのですが、広島県産牡蠣の濃厚さを活かして、牡蠣を切り刻んでソースに混ぜたり、牡蠣フライにして食べるなど、日本の牡蠣にまつわる食文化をPRしています」と新谷さん。EU

進出の喜びを口にしながらも、新谷さんが語気を強めるのは牡蠣生産者への思いだ。「一言でいうと感謝です。私たちの商いは、牡蠣を養殖する生産者がいないと成り立ちません」。これまで誰もなし得なかった壮大なプロジェクトは始まったばかり。牡蠣の未来のため、もっと輝く地域をつくるため、「クニヒロ」の挑戦は続いていく。

### 広島県産牡蠣が 海を越えてEUへ

2023年、「クニヒロ」は新たなスタートをきった。欧州連合(EU)加盟国に向け、生食用冷凍殻付き牡蠣の国内初



## フワトロ

### << 牡蠣食う店

広島名物充実の鉄板焼店。呉市「首戸海産」の牡蠣を使用する。牡蠣とホウレンソウのバター焼きの他、季節には殻付きの蒸し牡蠣も。広島県広島市南区大須賀町10-7  
TEL: 082-261-6022  
営: 18:00-24:00・OS23:00  
休: 不定



広島市の繁華街・流川に位置する貝料理専門店。安芸津産のブランド牡蠣「かき小町」を炭火焼で一年中提供する。殻つき焼牡蠣を豪快に。広島県広島市中区薬研堀2-11 TEL: 082-249-5550 営: 18:00-翌1:30 (金土曜・祝前日~翌2:30) 休: 日曜



新まるせ株式会社

代表取締役 土村学さん

ヒーロー03

牡蠣殻と水のみでつくるオーガニック除菌剤



手間ひまかけた牡蠣殻で作る除菌水

建設業者として舗装工事をメインに手がける「新まるせ」が開発した、牡蠣殻を使ったユニークな商品が話題だ。その名は「kikirara(カキララ)」。牡蠣殻と水のみでつくられた除菌剤だ。もとは、道路舗装で使用する重機の油汚れをとる洗浄剤を自社でまかなう、社内リソースが目的だった。県立広島大学の教授のもとを訪れ、2014年に開発をスタート。ホタテの殻に洗浄・消毒作用があることを知り、同じ貝類である広島県の牡蠣殻に注目した。そうして2019年、天然素材100%の除菌剤が完成。担当のもみじ銀行の提案でクラウドファンディング「KAIKA」(※1)に参加し、テストマーケティングとして良い結果を得たことで商品化への自信も高まったという。本来欲しかった洗浄作用から離れたが、代表取締役社長の土村学さんは牡蠣殻を使うことに意義があると話す。「広島県では、毎年約5000トンの牡蠣殻が発生し、保管場所に苦労している話も聞き



テーマは海から海へ 新たな商品も登場

「kikirara」の成分は、PH12.5の強アルカリ性水溶液だ。ウイルスや細菌を数分で除去することができる。一躍脚光を浴びたのは、新型コロナウイルス禍だった。当時、除菌剤に使用するア

目をつけなかった牡蠣殻の再利用に着手したのは、「TEGO」の中原佑介さん。大学卒業後、ゼネコンに就職し県外に勤めていた中原さんは、2016年地元である呉市川尻町へUターン。祖父の代から続く建設会社を継ぎながら、竹チップおよび竹チップの製造販売を行っている。竹に注目したのは、2018年の西日本豪雨災害だった。「僕の住む呉市も、大変な被害を受けました。その原因のひとつは、呉市における放置竹林の多さです。竹は地中深くまで根が伸びるため、急斜面に広がると斜面崩壊のリスクが高まる可能性があります。竹の活用を模索しているうち、牡蠣殻が盛んな広島県ならではの問題に直面したという。広島県で廃棄される牡蠣殻は年間約5700トン。従用の竹は約5年で耐用年数を迎え、そのほとんどが焼却処分されている。焼却は環境面から時代にそぐわなくなっていた。どうか活用する方法はないか。その答えが竹チップだった。「雑草繁殖の抑制に加え、竹チップには、更なる効果が期待されています。海に浮かんでいた筏は、ミネラルやカルシウムを含有。長年実験を続けた結果、それらの成分が植物の育成に好作用することがわかったんです」。満を持して、竹チップを2024年に本格リリース。現在、効果の証明に向けて、広島大学と共に実験を進めている。

地球環境を維持する循環型社会づくり

筏チップの評判は上々だ。防草効果による景観維持、除草剤を使わない環境対策などに一役かっている。撒かれているの

ました。再利用することで、少しでも牡蠣殻の処理軽減につながればと考えたんです。しかし、建設業と離れた分野の商品開発は苦勞の連続だったという。設備投資、品質管理、慣れない作業に四苦八苦。実際に製造現場を拝見すると、とてつもない労力と時間がかかっていることがわかる。まずは、牡蠣殻に付着した藻やフジツボなどを除去する洗浄作業からとりかかる。そうして毎日水を入れ替え塩抜きすること約2〜3週間。さらにその後、会社建屋の屋上で1カ月間、牡蠣殻が真っ白になるまで天日干しをする。もちろんここで終わりではない。綺麗になった牡蠣殻を1200度に熱した焼成炉で焼くこと20分。その後、ナノレベルの微粉末にして純水に溶かしようやく完成だ。この一連作業を、従業員が本業の合間に行っている。黙々と、真剣に、肅々と。生真面目な社風が伝わってきた。

社員や地域を大切にしたい 思いやりを持ち合わせる社長の人柄がとても素敵です。製造工程にも頭が下がります。「一家に一本kikirara」を合言葉に。



全な点が好評を博し、バンデミックが収まった現在も高い支持を得ている。「従業員数20人という少数精鋭の会社です。柔軟な発想ができるのが当社の強み」と笑う土村さんが次作として発売したのは、洗濯洗剤メーカーとコラボした「カキララのLaundry Senzai」だ。「海から海へ」をコンセプトに開発した洗剤は、添加物は一切不使用。界面活性剤の量は一般的な洗剤の約7分の1で環境に優しい。さらに広島東洋カープ公認商品として販売し、地域スポーツとの関わりも高める。環境対策を自分ごととして捉え、社員「丸」となって取り組む「新まるせ」。地域や社会に貢献しながら、企業としての価値ある成長を続けていく先に、温かい未来が見えた。(※1) YMF G 関連会社が運営するプラットフォーム

廿日市市地御前の生産者「世良水産」が直営する牡蠣バー。牡蠣フライやアヒージョ、生牡蠣などを、地酒やウイスキーと楽しめる。広島県廿日市市地御前5-30-9 TEL: 080-2947-1307 営: 18:00-22:00・OS21:30 休: 日月火曜

ヒーロー02



株式会社 TEGO

代表取締役 中原佑介さん



約5〜10センチある筏チップの意外な大きさに驚きました。風に飛ばされないよう試行錯誤して考えられたサイズだとか。牡蠣筏の可能性無限大!



海上に浮かぶ大鳥居の厳島神社で知られる日本三景の一つ、通称「安芸の宮島」近くの廿日市市大野。とある漁港で、牡蠣筏が粉碎されていく光景に出合った。粉碎機の中で碎かれるのは、廃棄された牡蠣養殖用の筏だ。小さくなった牡蠣筏は防草効果が期待される筏チップとなり、広島島の地に撒かれている。これまで誰も

海上から地上へ 土壌も育てる 廃牡蠣筏



役割を終えた牡蠣筏に新しい価値が宿る

目をつけなかった牡蠣殻の再利用に着手したのは、「TEGO」の中原佑介さん。大学卒業後、ゼネコンに就職し県外に勤めていた中原さんは、2016年地元である呉市川尻町へUターン。祖父の代から続く建設会社を継ぎながら、竹チップおよび竹チップの製造販売を行っている。竹に注目したのは、2018年の西日本豪雨災害だった。「僕の住む呉市も、大変な被害を受けました。その原因のひとつは、呉市における放置竹林の多さです。竹は地中深くまで根が伸びるため、急斜面に広がると斜面崩壊のリスクが高まる可能性があります。竹の活用を模索しているうち、牡蠣殻が盛んな広島県ならではの問題に直面したという。広島県で廃棄される牡蠣殻は年間約5700トン。従用の竹は約5年で耐用年数を迎え、そのほとんどが焼却処分されている。焼却は環境面から時代にそぐわなくなっていた。どうか活用する方法はないか。その答えが竹チップだった。「雑草繁殖の抑制に加え、竹チップには、更なる効果が期待されています。海に浮かんでいた筏は、ミネラルやカルシウムを含有。長年実験を続けた結果、それらの成分が植物の育成に好作用することがわかったんです」。満を持して、竹チップを2024年に本格リリース。現在、効果の証明に向けて、広島大学と共に実験を進めている。

は植栽管理が難しくなったマンシヨンの花壇、公園、家の庭、行政施設の敷地などさまざままで、防草効果は約5年間続くという。さらに、農業学校も運営しており、レモンの有機栽培にも利用している。「筏チップを撒くことで、雨で肥料が流れるのを防げます。土壌表面を覆うので保水性もアップ。つまり、蒸散防止の効果もあるんです。また、チップは少しずつ土となり最終的には自然に還ります。ゴミではなく肥料になるため、撤去の必要もありません」。どこまでも環境に優しく、雑草対策コストも削減、さらに土壌改良にも期待が高まる筏チップ。中原さんの仕事は、全て人の幸せにつながっている。本来捨てられるはずだった牡蠣殻を次なる形に変えて価値を持たせた。チップは土に返り、肥沃な大地となって新たな植物や農作物が育つ。そこに雨が降り、川の水が海に流れ、広島島の牡蠣を育てていく。社名の「TEGO(てごう)」は広島弁で「手伝い」という意味を持つ。広島発のオンラインワン循環が、地球環境を保持する大きな助けになる未来は近い。

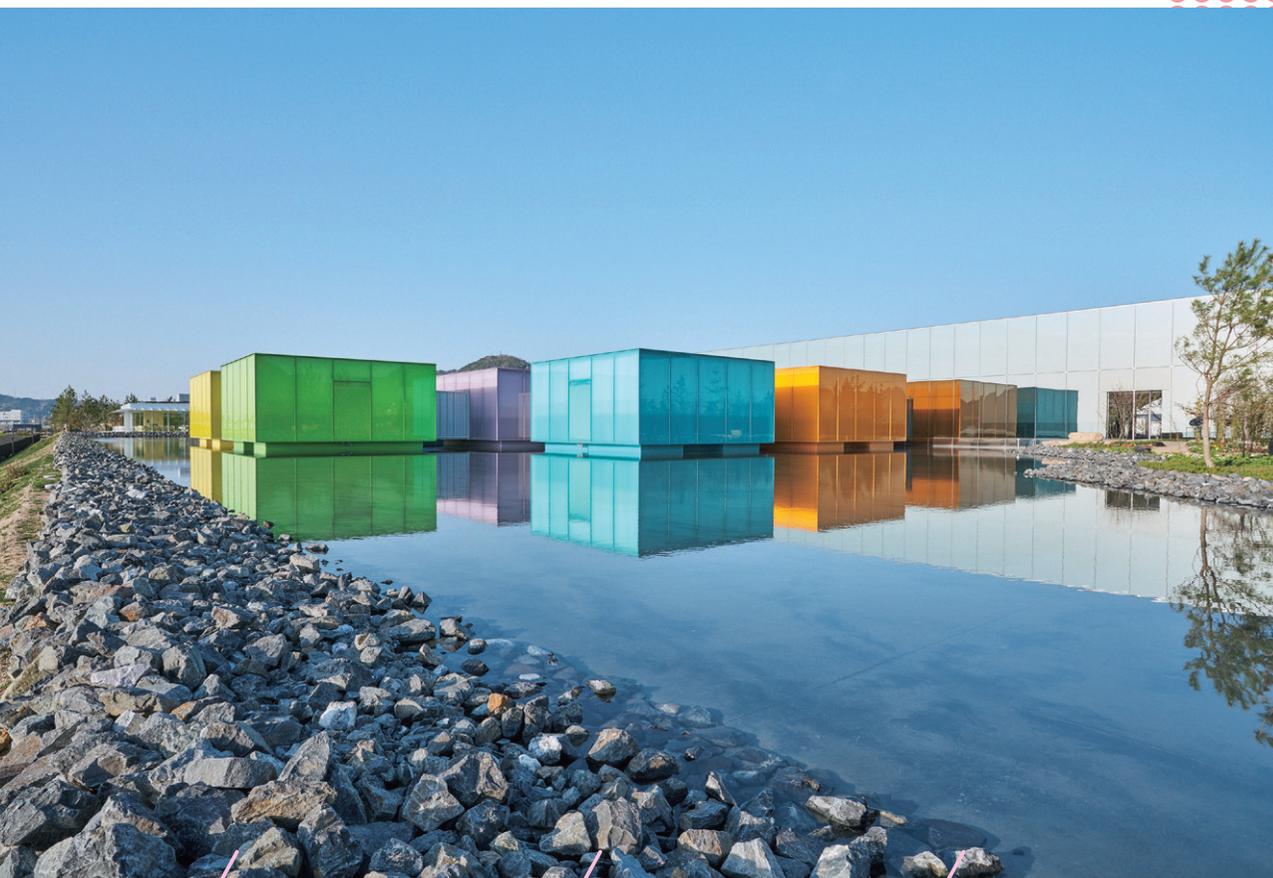


# 港の新拠点

人と文化が行き交う港町。ここで育まれた文化や歴史に新たな意味を与え、未来へとつなぐ新しい拠点を紹介します。

## 下瀬美術館

広島県大竹市晴海2丁目10-50  
TEL：0827-94-4000  
JR玖波駅、またはJR大竹駅より  
こいこいバス「ゆめタウン」下車徒歩5分。  
Instagram：@simose\_artmuseum



©SIMOSE

### 1 水盤に佇む 唯一無二の可動展示室

瀬戸内海の島々から着想した、水盤の上に佇む8つの可動展示室。「再び来館した時に楽しめるように」と、広島造船技術を活用して、展示内容に合わせた6パターンの配置換えが可能。水面に映り込んだ、外壁を覆う色とりどりのカラーガラスは時間や天候の移ろいとともに表情を変え、訪れるたびに新鮮なアート体験を提供する。

### 2 瀬戸内の風景に調和する 美しいアートの発信地

施設内に広がる庭園「エミール・ガレの庭」には、美術館のコレクションの中でも重要な位置づけにあるガレの作品が登場する植物を中心に、瀬戸内海の気候に適した四季折々の草花が植栽されている。自然と建築、アートが一体化した空間は国内外から注目され、2024年にユネスコ「世界で最も美しい美術館」最優秀賞を受賞した。

### 3 坂茂が手掛ける 泊まれる建築作品

美術館には坂茂の過去から現在までの建築作品が集結する宿泊施設「Simose Art Garden Villa」も併設。全10棟のヴィラは「森のヴィラ」と「水辺のヴィラ」に二分され、「森のヴィラ」には、坂がかつて手掛けた建築作品をリメイクした4棟と、新たに設計された1棟、「水辺のヴィラ」には全て新作の5棟が点在。宿泊者は閉館後も敷地内を散策できる。

## 数字で見る、広島の牡蠣

県内総生産量

約 1.8 万トン



2023年度の牡蠣の県内総生産量は17,800トン。これはシロナガスクジラ(約150トン)113頭分、東京タワー(約4,000トン)4.25本分にあたる。

全国生産量の割合

61.5 %

2022年(暦年)の都道府県別牡蠣生産量で広島県は61.5%を占める。また直近5年間の平均は62.3%と、名実ともに日本一の牡蠣どころといえる。

生産額

237 億円

2023年度の237億円は昭和42年に調査を開始して以来、過去最高額だ。同年度の平均単価は1,330円/kg。これも平年を上回っている。

牡蠣養殖の歴史

約 470 年

1924年に草津村役場が発行した「草津案内」に、広島(安芸国)で牡蠣養殖が始まったのは室町時代の天文年間(1532年～1555年)との記載がある。

牡蠣養殖の経営体数

288 経営体

広島県内で牡蠣の養殖を行う経営体の数は2023年度で288。農水省が5年ごとに公表している漁業センサスによると、この数は宮城県に次ぐ全国2位となる。

※編集部調べ

オイスターヒーロー【広島県】

# FUTURE

3人が描く未来について話を聞いた。事業を丁寧に拡大し、時代の流れを読んで、舵取りをする。彼らはもう、次の挑戦のために動き出しているようです。



株式会社クニヒロ 代表取締役 新谷真寿美さん

## 広島の牡蠣を守るため 新しい牡蠣養殖を模索中

牡蠣のトップメーカーとして走ることはもちろん、常にチャレンジ精神をもって新しいことに挑戦します。後継者問題等で牡蠣生産者が減っていく中、新たな牡蠣養殖のカタチも視野にいれています。牡蠣が広島の特産物であり続けるために、私たち世代がこれからどう動いていくのが重要です。



株式会社TEGO 代表取締役 中原佑介さん

## 筏チップ生産地帯を 瀬戸内沿岸のあちこちに

現在の筏チップ拠点は廿日市市のみですが、呉市、福山市とどんどん幅を広げて瀬戸内海沿岸部に筏チップベルトをつくりたい。さらに筏チップに彩色を施し、おしゃれな雰囲気を加えられるようにしたいです。建物の施工、デザインも自分で手掛け、一貫通貫の空間づくりもできれば。夢は果てしない!



新まるせ株式会社 代表取締役 土村学さん

## ローカルを大切に 地域社会創生に貢献

まだまだ「kakirara」を知られていないのが現状です。広島県産牡蠣を使った商品なので、まずは広島県民のみなさんに商品の魅力をPRできたらと思います。スポーツが盛んな県なので、野球のみならず、他スポーツとコラボレーションした洗剤もつくりたいですね。常に感謝の気持ちをもって、地域に貢献していきます。

# 瀬戸内のハワイ発、島の高校生による観光のアップデート!

PHOTO\_ 朝山啓司 (一部、周防大島高校提供)  
TEXT\_ 片桐絵都 ILLUSTRATION\_ 中尾悠  
EDIT\_ 後藤麻与



## 島じゅうがキャンパス! 高校生の思いから始まった エコツアー

周防大島高校では「島じゅうキャンパス」を合言葉に、島全体を学びの場と捉えた地域活動を行っている。その代表例がエコツアーだ。誕生のきっかけとなったのはニホンアワサンゴ。海の花束と呼ばれる美しいサンゴで、周防大島にはニホンアワサンゴの国内最大の群生地がある。しかし2020年の大量死滅によって絶滅の危機を迎えることに。この状況に胸を痛めた生徒たちが、観光のアプローチでニホンアワサンゴを守れないか思案。観光・まちづくりを支援する地元企業〈YMF ZONE プレミアム〉(YMF子会社)のサポートを受け、シユノーケリングやリアカヤックでニホンアワサンゴを見学するエコツアーを企画した。収益をニホンアワサンゴの保全に活用するとともに、そこから島のファンを増やそうという意図もある。継続的に保全費用を得るため、現在はニホンアワサンゴを守る「山口県東部海域にエコツーリズムを推進する会」が引き継ぎ、ツアーを運営している。高校生から生まれたアイデアが、来年の海にも可憐な花を咲かせる。

## 周防大島高校

特別進学・普通・環境の3コースがある普通科と、福祉・ビジネスの2コースがある地域創生科の2学科で構成される。3年間の地域活動「島・学・人プロジェクト」をカリキュラム化しているのが特徴で、全コースの生徒がさまざまな角度から島の課題に取り組んでいる。



## 国内初の地域創生科がある 島唯一の高校

青い海、白い砂浜、風に揺れるヤシの木。山口県の最東部にある周防大島は、ハワイのカワイ島の姉妹島で、瀬戸内のハワイとも呼ばれている。観光客や移住者が多い一方、少子高齢化の最先端を行く島としても知られ、この10年で人口は約25%減少。周防大島高校は、そんな島で唯一の県立高校だ。今の島の姿は、山口県、ひいては全国の未来の姿。高校生のうちから地域を知り、自発的に課題に取り組んでおけば、卒業後も高い志を持ち、島内だけでなく全国各地で活躍できるのではないかと。そこで2014年、国内初の地域創生科を設置。島の資源を教材に、授業の環として地域づくりを始めた。カリキュラムの魅力はフィールドワークに重きを置いている点。地方創生に携わる地元企業やNPO、JA、商工会議所などの多様なパートナーとともに、ツアー提案や商品開発を実施。学びながら島の活性化に貢献できる構造になっている。机上のアイデアを実行に移せば、当然、苦難や挫折を味わうことも。しかしその経験こそが大きな自信となり、未来を担う力に変わる。



やってみたいこと

周防大島らしさの再発見で新しい風を吹かす

次年度以降に向けた新たな構想も次々に生まれていく。生徒たちが島の課題に向き合う上で核としていのは「地域循環共生圏」の観点。これは、エネルギーや食を地産地消しながら、地域の中で資源が循環する自立・分散型の社会をつくり、地域同士が互いに資源を補完しながら支え合うという考えだ。豊かな地域資源、地元企業のノウハウ、高校生のフレッシュな発想が組み合わさることで、周防大島の未来は無限に広がる。少子高齢化ではなく、全国のお手本としての最先端になる日も近そうだ。

許可証ゲットで何でも食べ放題！



未来予想図

プロジェクトを支える  
地域プラットフォームも！

周防大島高校の取り組みを応援しようと、20以上の地元企業・団体が地域プラットフォームに参画。

生徒からアイデア提出



学校内 PC



地域の関係者から  
フィードバック

- 01 **うずしおバンジージャンプ**  
大島大橋が架かる「大島瀬戸」は、日本三大潮流の1つで流速7ノット(時速約13km)。激流に向かうバンジージャンプはスリル満点！
- 02 **オレンジコースター**  
耕作放棄地にあるみかん運搬用モノレールに乗る画期的なアクティビティ。斜面をうねるように走る楽しさが味わえ、コストもかからない。
- 03 **みかんチップス**  
摘果みかんを乾燥させてチップスに。特産品の認知度を上げ、高齢者でも手軽に食べられるようにするのが狙い。収益は高齢者施設に還元。
- 04 **青春のアジ**  
周防大島はルアーでアジを釣る「アジング」の名所。地元ボランティアや遊漁船協力のもと釣り教室を開催し、釣り餌は廃棄みかんを活用。
- 05 **周防大島×バーチャルアイドル**  
人気アニメシリーズに登場するアイドルとコラボ。みかん収穫の対価に限定グッズを提供する名目でファンを呼び込み、農家を支援する。
- 06 **かぶりつきセンター**  
「かぶりつきセンター」を設置し、入園料を払えばみかんなどの島のものを自由にとって食べられる許可証「かぶりつきフラッグ」を交付。

上記の生徒のアイデアは2024年度以前のもので

やってること



長年アロハビズを取り入れている周防大島町。「アロハ」には「よくいらっしやいました」の意味もあり、アロハシャツはおもてなしのドレスコード。そんな島の文化を活かし、町と山口県立大学とコラボしてみかんの花&ニホンアワサングをあしらったアロハシャツを制作。生徒有志によるフラサークルの活動にも力を入れ、地域ぐるみで「瀬戸内のハワイ」を表現する。



ALOHA

1 おもてなしのシャツと  
フラサークル

山口県立大学×地域×周防大島高校

2

新たな特産品開発



県内生産者×地域×周防大島高校

地元製塩会社(龍神乃里)と手を組み、代表の村上雅昭さん指導のもと、県産素材を使用した塩飴「瀬戸内のダイヤ」を開発。パッケージデザインから生産者への交渉まで全て自分たちで行い、ビジネスの難しさを学んだ。完成後は「人生が変わった」と涙する生徒も。

「島じゅんキャンパス」のチャレンジ

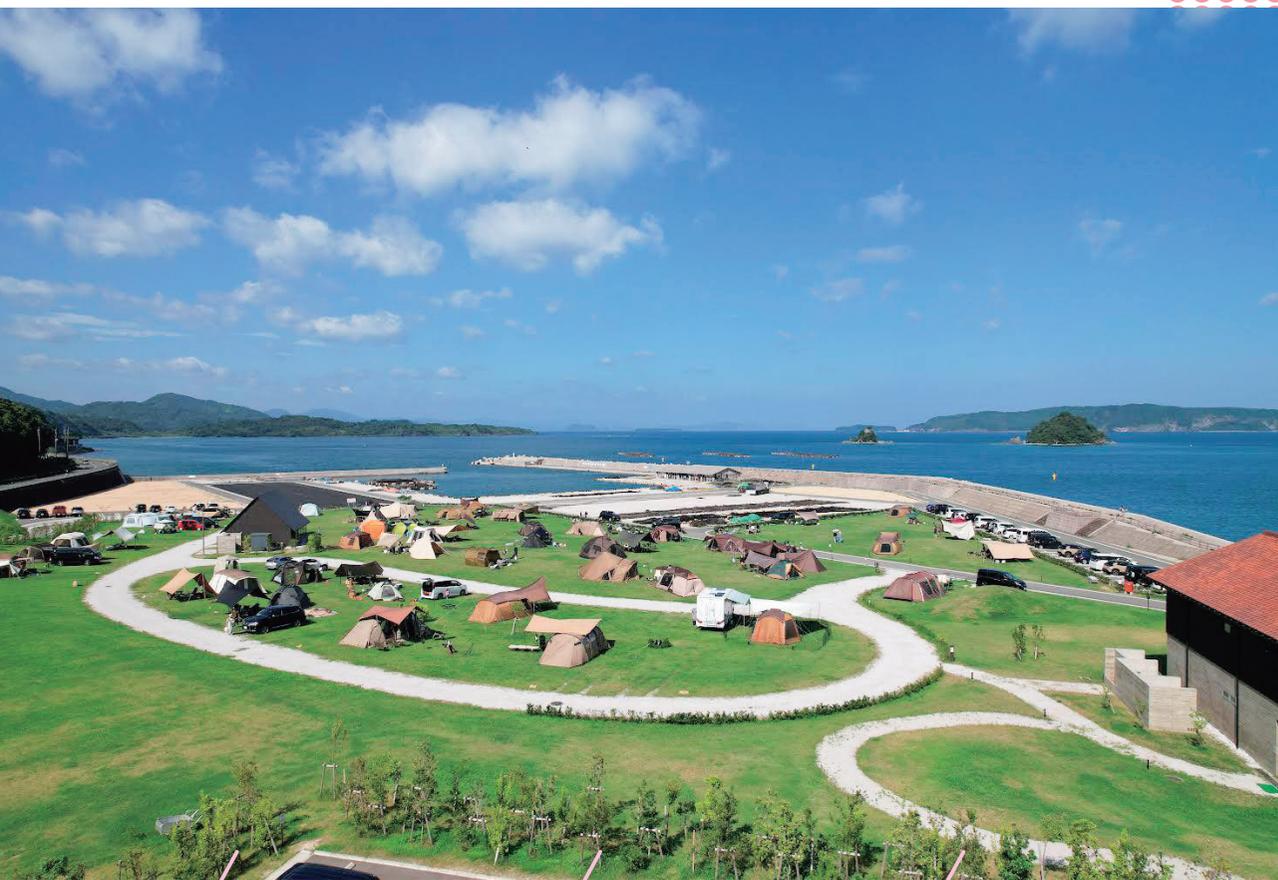
地域で学び、地域と育つ(周防大島高校)

# 港の新拠点

人と文化が行き交う港町。ここで育まれた文化や歴史に新たな意味を与え、未来へとつなぐ新しい拠点を紹介します。

## ABU キャンプフィールド

山口県阿武郡阿武町奈古2248-1  
TEL: 08388-2-3000  
萩・石見空港から車で50分  
新山口駅から車で1時間10分  
Instagram: @abucampfield\_official



### 1 日本海に張り出した 広大な“まちの縁側”

火山活動で起伏に富んだ地形が生まれた山口県阿武町。豊かな漁場、肥沃な農地、カルデラの田園風景など多彩な表情を持つ。その入り口にあるのが、日本海に芝のフリーサイトを張り出したキャンプ場。〈snowpeak〉と地域住民が手を取り合い、3年かけて完成させた。約2万3,000m<sup>2</sup>の“まちの縁側”でくつろげば、森と里と海の一体感に包まれる。

### 2 地域をまるごと味わう 新感覚のキャンプ場

最新設備のキャンプフィールドはフルレンタル可能。漁港とほぼひと続きになっていて、働く漁師の姿や日本海に沈む夕日を眺められる。敷地内には地元食材を使ったメニューが楽しめるカフェを併設し、地元産の薪も販売。日本初の道の駅〈道の駅阿武町〉も隣接し、朝獲れの魚や特産品が手に入る。さらに温泉も！ 街の魅力がギュッと凝縮。

### 3 阿武町ならではの 貴重な体験プログラム

素潜りでサザエを獲る1日海士体験や、この地域にしかない幻の牛・無角和種を焼いて食べるツアー、山の中でのスウェーデントーチづくりなど、滞在中に楽しめる遊びも充実。豊富な地域資源に恵まれながらも人口減少が進む阿武町。自然、食、人々の暮らしといった街の魅力をキャンプ場から発信し、地域内の経済循環と移住促進を目指す。

フレッシュな島観光【山口県】

## MIKKE×中村農園

### 移住者 コラボ

島のはちみつ  
うめシロップ



### 中村農園

シロップは〈中村農園〉のオンラインストア〈YORIMICHI BAZAR〉で購入可能。島の名物も厳選して販売する。  
Instagram: @yorimichibazar

元銀杏BOYZの中村明珍さんは音楽から離れ、新天地に周防大島を選んだ。〈中村農園〉のオーナーで僧侶で文筆家と、「自分でも狂ってると思う(笑)」くらい多彩に活動する。土の中の状況が見えない畑仕事は、音楽という目に見えないものに向き合ってきた中村さんを夢中にさせた。都度考えて答えを出す農業にはパンク精神が息づいているという。自然味あふれる〈中村農園〉の梅は無肥料・無農薬。その梅を、同じく移住者で〈MIKKE〉を営む内田さん夫妻が手掛けた周防大島産100%の生はちみつと合わせてシロップに。純粋な島の味を堪能しよう。

農業もパンク。だから  
おのずと行き着いた



## 「移住者の島」の 新 てみやげ案内

周防大島に魅せられた人たちがつくる新しいブランドを紹介します。



お金じゃなくて心の  
やりとりができる

東京や大阪で修業を積み、岡山で野菜料理専門店を営んでいた池本由言さんは、コロナを機に田舎への移住を決意。「橋島 移住者」でヒットした周防大島へ視察に行くと、先輩移住者たちから温かな歓迎を受ける。都会では味わえなかった心のやりとり。この人たちが住む場所なら間違いないと確信した。池本さんが作るソースは、島の野菜を中心に厳選した素材だけを使用。春には絶品ソースを活かした麺料理店も開業予定だ。

菜種油ジェノベーゼ  
(からし菜)



### 土ノ音

山口県大島郡周防大島町戸田1270  
Instagram: @tuchi\_no\_ne

大手コーヒーメーカー勤務だった永井裕子さん。身の振り方を考えていた頃、山口県室積で出会った塩焙煎コーヒーの味に衝撃を受ける。新たな挑戦がしたいと会社を辞め、周防大島のチャレンジショップ内に塩焙煎コーヒーの店を開業。おいしさの秘密は、豆を海水で洗って焙煎すること。雑味やえぐみがなくなり、カフェインも低減。永井さんの笑顔のようなまろやかな風味が広がる。

現状維持か挑戦か？  
だったら挑戦でしょ



塩焙煎コーヒー



### MINAPA COFFEE

山口県大島郡周防大島町西方1958-77  
Instagram: @minapa.coffee

# YMFGのあした考

## 第4回

### 「はじまりの背中を押す」

YMFGには、さまざまな「はじまり」を支援することを仕事にしている人たちがいます。どんな事業をサポートしているのだから、自分自身のマインドにまで話が広がりました。

TEXT\_浅野佳子  
ILLUSTRATION\_堀内えりか



YMFG ZONEプランニング

### 三村晋也

みむら-しんや/地域のスタートアップ創出支援、スタートアッププログラム(Mirise~ミライズ~)の運営を担当。はじめたことは、SNS発信。「登録しているだけなので、発信にチャレンジしたいです」。



ワイエムコンサルティング

### 竹谷佳朗

たけたに-よしろう/地域企業に伴走し、経済産業省の「大規模成長投資補助金」申請のための計画策定支援を行う。最近はじめたことは、ChatGPT。「人間力は自力で磨きつつ、仕事はChatGPTで効率化したいですね」。



山口FG 地域共創室

### 上妻正享

こうづま-まさゆき/YMFG社員が、自ら起業した新規事業の実現にチャレンジするプログラム(YMFG Growth)を担当。最近はじめたことは、マラソン。「プライベートでも無理めなものに挑戦する気持ちが湧いてきました」。

## 「はじまり」を サポートしてる？

**三村** 私は地域のスタートアップ創出支援やベンチャー企業の育成支援の仕事を中心にしています。ただ、スタートアップを育てるのには時間がかかりますし、そもそも東京や大阪に比べると起業を志向する人の数も少ない。ですので学生へのアントレプレナーシップ教育を通じて、起業家マインドを耕すことも同時進行で取り組んでいます。

**竹谷** 私は0を1にするというよりは、既に事業を行っている企業の新規事業や、会社の根幹となる経営計画策定等のお手伝いをしています。特に最近では、コロナ禍以降に国でさまざまな補助金が整備されていて、その申請のための事業計画書と一緒に作ったりもします。

会社の利益を増やすことと同時に、行わなければ、事業が立ち行かなくなり得るから。

**上妻** 私からは(YMFG Growth)の初年度にグランプリをとって社内起業した(テックバンク)を紹介しています。これは、モノづくりを行う中小企業の技能継承をお手伝いする事業です。貴重な技術を持っていて利益が上がっているよい企業でも、経営者が高齢化し後継者が育っていないと、技術が途絶えてしまいます。そこで企業の存続や、技術の継承のサポートを事業化しました。

**三村** さまざまな企業とお会いする機会が多い銀行ならではの目の付け所ですね。

**上妻** 確かにこのケースは銀行業務の



### 竹谷が推したいはじまり【ただおザウルス】

廃棄するプラスチックを燃料に変えて、再び山口県内の企業に販売するモデルを構築中。ももとのドメインを活かした事業なので、無理なく取り組めそうなのが利点。地域の産業廃棄物を使って地域に還元するという考えも、社会課題解決の一助となりそうです。



### 三村が推したいはじまり【中特ホールディングス】

事業承継を見据えて、廃棄物処理を主な事業とする同社にUターンした吉本龍太郎氏は、Miriseプログラム(山口県主催、YMZOPにて受託)を通して、廃棄物アートを事業化されています。アトツギとして家業の歴史を紐解き、新たな価値を生み出すことに確かな手応えを感じておられます。

## 私が サポートした 印象に残っている 「はじまり」

**三村** 「はじまりをサポートする」と言っても、レイヤーが異なりますね。

私が最近関心を持って取り組んでいるのは、大学発のスタートアップを創出することです。研究の中にはビジネスに結びつきそうな種が潜んでいることもしばしば。ですが研究者のみなさんは当然ながら研究が仕事で、ビジネスにつなげるには別の能力が必要です。そこで外部の専門家と連携して事業化を目指す試みを行っています。最近では外部専門家とともに山口大学の教授の創業に関連する研究成果をビジネスにつなげていく支援を行っています。

生まれる土壌を作るのが仕事です。具体的には(YMFG Growth)という自ら起業した新規事業の実現にチャレンジできるプログラムを走らせていて、これまでの4年間で累計312件の事業プランの応募がありました。その中から選考に残った事業の実現を目指しています。

**竹谷** 私が最近手応えを感じたのは、経産省で公募が行われた「大規模成長投資補助金」において、支援した事業者さんが全国採択率9%という壁を乗り越えて採択に至ったことです。その補助金というのが、「地域の雇用を支える中堅・中小企業が、足元の人手不足等の課題に対応し、成長していくことを目指して行う大規模投資を促進すること、地方における持続的な賃上げを実現すること」を目的としたものです。具体的には産業廃棄物の中間処理業者さんの、廃プラスチックから固形燃料を作る設備を導入するプランと一緒に作りました。

**上妻** 事業そのものだけでなく「持続的な賃上げ」まで見越した事業が採択されるというのがユニークですね。

**竹谷** そうなんです。人手不足を解消するには賃上げが必須ですが、賃上げはただこの仕事をしていると、自分自身が刺激を受けますね。チャレンジしている人にとってとても魅力的で、周りにたくさんの方が集まってきます。そのムーブメントを目の当たりにしていると、自分自身もチャレンジングじゃないか！と思えます。

**上妻** わかります。私たちのような仕事は、もちろん新規事業が生まれて軌道に乗り、企業や地域に利益をもたらすと、いう直接の意味もあると思うのですが、間接的には(YMFG)社員そのものが元気になり、挑戦心を持っているところに大きな意義があるように感じます。私自身も自分でやってみたいという気持ちが生まれています。

**竹谷** 確かに環境は大事ですね。自分の周りにもチャレンジを応援する文化を構築していきたいですね。

## どうしたら モチベートできる？

**竹谷** みなさんは伴走にあたって気を付けていることはありますか？

**上妻** 新規事業には正解がないので、起業家は得てして孤独になりがちです。周りからプランについて突っ込まれれば不安にもなります。しかしこればかりは思いがある人が取り組むことに意味があるので、私は勇気つけられる心のメンターでありたいと思っています。一番効果があるのは、「一緒にやる」ことかなあ。指示ではなく一緒に考え、一緒につくる。これがモチベーションを保つてもらえる究極的な方法かもしれません。

**竹谷** 私が取り組む時に心がけていることは3つあって、①目的やゴールを常に共有し続ける ②共感してくれる人にプロジェクトに参加してもらおう ③ワクワクする事業にするということなんです。ポジティブに新規事業をつくっていく上で、不可欠かなと思っています。

## 「はじまり」を 支援する真の意味

**上妻** どうしたら学校でアントレプレナーシップが育めるのですか。

**三村** 学生の間は、「起業しよう」というより「起業家マインドを持つ」という方が近くて、自分で課題を探して自分の頭で考えることが基本です。そういう意味では、最近始まった探求学習にも近いですね。子どもたちは発想が柔軟で、どんどん出てきます。すごくいいなと思います。ただ課題は学校の先生たちはそれを教えることをこれまでやってきていないので、せっかくの発想を育てることが難しいのです。だから私たちのような存在が間に入る必要があるのかなと思います。



### 上妻が推したいはじまり【テックバンク】

(技能継承支援システム)を開発し、顧客の技能継承課題に長期伴走して解決支援するコンサルティングサービスです。実は技能継承など育成についての課題を解決することは、そのまま働く人のモチベーションアップと生産性向上に寄与することがわかってきました。



さまざまな文化の往来と創発に寄与してきた歴史ある「関門海峡」。またここから始まる、音楽の街の物語にある背景を伺った。

PHOTO\_ 西澤真由子 EDIT&TEXT\_ 後藤麻与

橋のもとで響くメロディ。  
子どもたちの歌声に  
胸が一杯になりました。



アーティスト・  
音楽プロデューサー  
松田亜有子さん

山口県下関市出身。東京を拠点に国内外のクラシック音楽の企画制作に携わる。(アーモンド)代表としての活動の傍ら執筆と講演を行う。IGPIグループ顧問。

松田さん「この会に関わるそもそものきっかけは何だったのでしょうか。松田「知人に誘われ訪れた福祉施設で、ストリートピアノプロジェクトの主宰者のお話を伺いました。街角のピアノが孤立や孤独のない社会をつくる、自殺者を減らしたいと思っている、と。その思いを聞き、多くの方に街角ピアノの意義を伝える公演をしたいと思いました。」

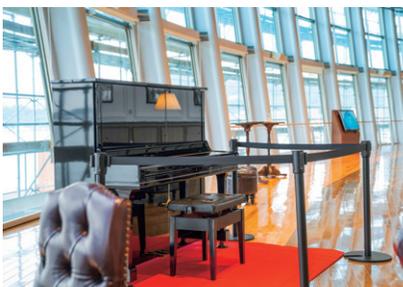
松田「日明小学校にお願いしたのは、偶然下関にいた時に地元報道番組で指揮の竹永亮太先生の活動を知ったからです。体が動くうちは合唱で生徒を育てたいと、先生ご自身が音楽の力に生かされているとお話されていて感銘を受けました。」

音楽が人と街と未来をつなぐ  
“架け橋”としてのピアノ

編集「エルガーが婚約の際に贈った曲から始まるコンサート。(日明小学校)の子どもたちが体全体で表現する姿にとても感動しました。」

編集「コンサートホール以外の演奏会は普段だとあまりやらないものですか?」  
松田「そんなことはないです。私がお社を立ち上げたのは、マザーテレサのように音楽宣教教師として、1人でも多くの方に音楽を届けたいと思ったからです。音楽は演奏され、聴いて下さる方がいて初めて成立します。だから共に文化を耕していきたい。そう願って、さまざまな場所で演奏会を開催しています。」

編集「松田さんは出会いを生む人の印象ですが、今後やりたいことはありますか?」  
松田「世界各地で戦争の危機がある中、今安心して演奏会を開催できていることが奇跡です。そのことに感謝し、1日1日、平和を祈りながら、これからも音楽を届けていきたいと思っています。」



10月末にデビューした(関門海峡ミュージアム)のピアノ。北九州市を中心とする福岡県内に11台設置されている。

関門海峡にストリートピアノが登場  
お披露目コンサート

\* ALS 手足や顔などの筋肉が徐々にやせ細り、力がなくなっていく病気



北九州



北九州銀行 本店営業部  
梶屋智大

長府支店の社員に  
脈々と受け継がれる  
〈ひら田〉のお好み焼き

勤務初日に先輩に連れて行ってもらって以来、毎日のように通っています。関西風、広島風から選べるなどメニューが豊富で飽きません。店主の平田さんは商店街の行事にも積極的で、街への愛情が感じられる。だからこそ、お店も愛され続けているのだと思います。(丸崎)

月初めのランチは支店の法人営業メンバーみんなで〈ひら田〉に行くのが恒例。なんてことない話ができる大切な時間です。店内で野球中継が流れていると、自然と声援や拍手が起きるアットホームな空間。私たちのこともいつも温かく迎えてくれるので感謝しています。(原田)

ミックストッピング麺 1,090円(税込)  
下関市長府中浜町7-5 営: 11:30~14:00, 15:30~17:30  
休: 日



山口県



山口銀行 長府支店  
丸崎 遥斗 / 原田 侑佳

YMFG社員がリアルに通うランチの名店をご紹介します。今回は、地元の人に愛され続けているお店をピックアップ。事業承継のヒントが見つかりました。

PHOTO\_ 岩塚俊一(北九州・山口県)、中野一行(広島県) TEXT&EDIT\_ 吉川月華

〈とんかつ藍〉の  
食べる人の心を動かす  
「ロースかつ」

北九州市若松区にあった〈とんかつ藍〉の閉店をきっかけに、その味を愛してやまなかった居酒屋(焼きもんや菜's)の店主が屋号を継承。「この味を守らなければ」という使命感で、5年かけて研究を重ね、味を再現したといいます。現店主の定野さんは、常に「どうしたら人を感動させられるか」を考えている方。実際、とんかつは肉厚でやわらかく、細部まで丁寧で、驚くほど美味しいです。定野さんを見ていると、事業の継続には「利他」の精神がいかに重要か改めて感じます。自分の満足だけでなく、誰かを喜ばせたいという想いが、お店の原動力になるのだと思います。

特上ロースかつ定食 1,550円(税込)  
北九州市小倉北区船場町7-11 営: 11:30~15:00  
\*17:00~22:00は〈焼きもんや菜's〉として営業 休: 月

広島県



もみじ銀行  
本店営業部  
原 拓史

老若男女が体験できる  
贅沢ここにあり  
〈すし亭〉のにぎり寿司

広島市内で4店舗展開する寿司屋〈すし亭〉は、1965年創業のふぐ・活魚料理店(ひのき)がルーツ。1号店が開店した1989年の広島は、今以上に独立系のお店が軒を連ね、チェーンで成功するのは難しいといわれていました。そのなかで30年以上愛され続けている理由は、「リーズナブルに質の高いお寿司を提供する」という創業当時のコンセプトを守り抜いているからでしょう。板前さんが目の前で寿司を握ってくれる体験はやっぱり贅沢です。寿司が柏の葉に乗っているのはネタが新鮮な証拠。「休日の昼」、ビール片手にスタートするのが私の至福のひとつです。

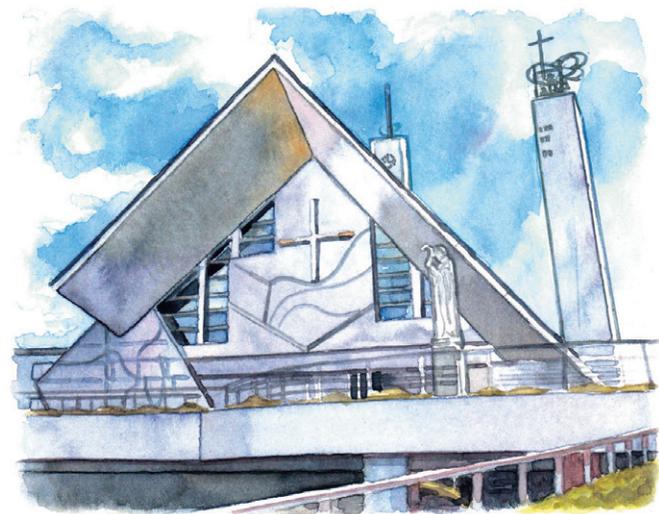
上にぎり盛合せ 2,200円(税込)  
店舗: 胡町店、本通り店、光町店、アルパーク前店、西条駅前店  
営・休: 昼営業(平日)は本通り店のみ。  
営業時間は店舗によって異なります。

あしたのランチ何食べる?

What will you have for lunch tomorrow?

ラブレター from

世田谷



## 「帰るたびに エネルギーがもらえる お守りのような存在です」

高校を卒業後、地元・山口市で父が営むカバンブランド「ポーター」の専門店で働いていました。その頃、偶然店に来てくれた東京の雑誌編集者との出逢いがきっかけでスタイリストを目指すように。21歳で上京してからは忙しさから、なかなか地元に戻っていませんでした。でも、コロナ禍を機に東京の外にも拠点を持ちたいと考えるようになったんです。ちょうど同じ頃、地元の有名な文房具店から「一緒に何かやりませんか?」とお誘いいただいたことがきっかけで、地元周辺ではまだ取り扱いのないデザイナーズブランドの製品をポップアップ形式で販売するお店〈RETROP(リトロップ)〉を、複合施設〈維新ナインテラス〉内に開業しました。以来、2カ月に一度のペースで地元に戻っています。最近、改めていいなと思ったのは〈サビエル記念聖堂〉。あまり知られていないけど、日本で初めてクリスマスが祝われた歴史のある教会です。不思議と山口の風景にも

馴染む建築やステンドグラスがすごく素敵ですし、一歩中に入るとスッと空気が変わるような心地のよさを感じます。子どもの頃から通っていた遊び慣れた場所ですが、今でもここでパイプオルガンの演奏を聴くと神聖な気持ちになるというか。初心に戻るような気がします。

それと、瑠璃光寺門前にある〈長州そば 東京庵〉もぜひ。名物の「蕎麦寿司」は酢飯の代わりに蕎麦が卵と一緒に巻かれていて、それが本当に美味しい! こども子どもの頃から通い続けているお店で、よく両親とも食べに行きました。どちらも山口市内なので、ついでに〈RETROP〉にも立ち寄ってもらえたら嬉しいです。

山口に帰るようになってから、店のお客さんや山口での新しい出逢いにすごくエネルギーをもらっています。住んでいるときはわからなかったけれど、今では地元が心の支えであり、お守りのような存在です。

教えてくれた人



photo: Jun Udagawa

**井藤成一** (いとう・せいいち)  
スタイリスト。1978年、山口県生まれ。東京都在住。ファッション誌を中心に、スタイリングを手掛ける。2021年、山口市〈維新ナインテラス〉に自身の監修によるセレクトショップ〈RETROP〉を開業。定期的にポップアップイベントを開催。仕事で出会ったデザイナーやブランドをジャンルを問わず紹介し、地域の新たな社交場となっている。  
Instagram: @retrop\_yamaguchi

ILLUSTRATION\_黒木仁史

HIROSHIMA  
〈横原太郎〉



線象嵌盃 | 線象嵌片口  
〈横原太郎〉  
Instagram: @makihara\_taro

KITAKYUSHU  
〈阿部眞士〉



ゆず文そば猪口 | 色絵の蕎麦猪口  
〈祐工寮〉  
北九州市八幡東区河内2-2-23

YAMAGUCHI  
〈岡田泰〉



淡青釉ぐい呑 | 萩ぐい呑  
〈萩焼窯元 岡田窯〉  
山口県萩市椿東前小畑4885

## 三都の 雑貨物語



N° 04  
ぐい呑と呑めば  
夢ごち

線象嵌盃  
〈横原太郎〉

「三都の雑貨物語」では、毎号ひとつのテーマに沿って集めたものと、それにまつわるエピソードをご紹介します。過去のものも公式Instagramにあるのでチェックしてみてください。@ymfg\_official

ワイン用語でよく耳にする「テロワール」。土壌など原料のブドウが育つ自然環境を意味し、ワインの味を左右する重要な要素の一つです。最近では日本酒の世界でもテロワールが注目され、その土地ならではの味を追求するつくり手が増えているのだとか。ならいっせ、三都生まれのお酒は三都の酒器で味わってみては? 優美な白磁に温かみのある絵柄が描かれたそば猪口は、北九州市の山間に工房を構える阿部眞士さんの作品。ロクロで丁寧に成形し、磁器としては低めの1270度で焼成すること、磁器に薄いの概念を覆すぼつりとした佇まいを生み出します。ほどよくなめらかなで、口当たりのよい質感も魅力。200年以上続く岡田窯の後継者・岡田泰さんは、歴史ある萩焼に独自のアレンジを加えます。代表作は、見るたびに表情を変える萩の海を表現した淡青釉シリーズ。萩焼の特徴である土味の上に、どこまでも澄んだ淡い青の色合いが広がります。ほぼ下書きなしで驚くほど精密な模様を描くのは、広島市で作陶する横原太郎さん。わずかに感じる凹凸は、乾ききる前の土に線を彫り込む象嵌の技法によるもの。スティックな手仕事、ずっと眺めていたくなる奥深さを醸成します。しんと冷える夜、美酒と酒器の背景に思いを馳せる夢のような時間。なんて粋なテロワール!

TEXT\_片桐絵都 EDIT\_後藤麻与

# 02 YMキャリアの新社長・大賀慎也ってどんな人？

山口銀行の営業マンとしてキャリアを積み、2024年10月に34歳の若さでYMキャリアの代表取締役役に抜擢された大賀慎也さん。前向きな仕事への姿勢と、新社長としての意気込みを伺った。

— 山口銀行ではどんな仕事を？  
「現金出納や融資事務、個人・法人の営業

### 大賀慎也のキャリア年表

- 1990年8月 山口県下関市に生まれる
- 2013年4月 早稲田大学を卒業後、Uターンで山口銀行に新卒で入社  
山口銀行山口支店で、事務や個人営業を経験
- 2017年6月 山口銀行東広島支店に転勤。  
法人営業を担当
- 2020年4月 YMキャリアへ転向
- 2023年10月 下関オフィスの営業統括者としてマネジメントを経験
- 2024年10月 代表取締役役に就任

など、銀行業務の基礎を幅広く経験しました。入社時から『誰も成し遂げることがないことをやりたい』という向上心があり、キャリアの浅い時期から『企業の社長と仕事がしたいから法人営業をさせてくれ』と上司に懇願していました(笑)。無茶をすることも多かったですが、今となってはいい思い出です」

— 銀行営業の面白さはなんでしょうか？  
「いかに本音を引き出すかが勝負だと思っています。そのために、クライアントと繰り返し会ったり、アイデアを提案したり、意欲的に取り組んでいました」  
— 高い意識で仕事をやる、そのモチベーションはどう引き出しているんですか？  
「せっかく一緒に仕事をするのであれば相手にポジティブな影響を与えたいので、どのような環境でも楽しさを探そうにしています」  
— 山口銀行から創業1年目のYMキャリアへ出向した、当時の心境は？  
「驚きました。でも『これからサービスを作って

人のよこぶ顔が僕の原動力です！



YMキャリア代表取締役 大賀慎也

いく段階だからこそ、面白くなって仕事をしてほしい』という当時の社長の言葉が、『誰も成し遂げることがないことをやりたい』という僕の思いにとても響いたんです。YMキャリアをご利用いただく企業のみなさんも、社会貢献や企業成長のために、人材の力を求めている方ばかり。その熱い情熱はいつも刺激になっています」  
— 新社長としての今後の意気込みをどうぞ！  
「地方企業に関わる人が増えれば、地域はもっと元気になるはず。YMキャリアは人材を通して、地方企業と地域の発展に貢献していきたいと思っています」

# 03 YMFGも参画する徳山駅の街づくりプロジェクト、新たなステージへ。

〈TOKUYAMA DECK〉のにぎわいが街に連鎖中!



株式会社パークタウン商業運営 TOKUYAMA DECK 館長 野村真由美さん

山口県周南市のJR徳山駅前にある商業施設(TOKUYAMA DECK)に、新店舗が次々とオープン。商業棟D2の中で最大の売り場面積を誇るバラエティショップ「DECK PLAZA」では、コスメブランド〈hince〉や〈OSAJI〉〈ダヴィネス〉が山口県に初上陸。また女性専用AIパーソナルトレーニングジム〈FURDI〉も県内初出店を果たした。〈TOKUYAMA DECK〉の開業後、近くの徳山駅前商店街にも多くの人が訪れるようになり、

街全体が活気づいている。同施設の館長・野村さんは、「JR徳山駅前の再開発は、地元の方々が地元のために立ち上げたプロジェクト。その成果が実って嬉しい」と話す。さらに商店街には、この1年間で約10店舗の飲食店がオープン。「若い世代が街のために立ち上がる姿を見てきた。今後は商店街のみなさんと密接に連携しながら、徳山駅周辺をさらに盛り上げていきたい」と、今後の期待を語った。

### TOKUYAMA DECK D1 D2

山口県周南市銀座1-31  
Instagram : @tokuyamadeck

### 公式 Instagram 開設!

街の方々と交流する場所がつけられたらと思い、公式 Instagram を開設しました。マガジンの内容はもちろん、誌面で紹介しきれなかった、街のあしたを照らしてくれそうな人や場所、取り組みも発信中です。みなさまからの情報、感想もお待ちしております。 #YMfg



@ymfg\_official

# 01 YMキャリアのマッチングが、780件を突破しました。

金融×人材の勢いが止まらない。



「YMキャリア」の詳細はこちら

地方企業の人材不足が深刻化する昨今。地方企業が抱える経営課題を「人材」の面から支援するYMキャリアの需要が、今高まっている。YMFGの子会社として2019年に創業して以来、中・四国地方最大の金融グループネットワークを武器に、人材ソリューションを提供している。成約件数は約780件を達成するなど、中・四国地方における社会問題の解決に貢献してきた(2024年9月末時点、提供4サービス合計)。YMキャリアが創業5年で優れた実績を残す理由を、「伴走型支援サービス」と「YMプロシエアリング」の事例からひもとく。

### 【プロシエアリングとは?】

業界×専門領域に特化した約25,000名のプロ人材の「経験・知見」を必要な時に必要なだけ活用できるサービス。人材定着や組織力強化、新規事業開発、営業の強化・改革などの企業課題に応じて、最適なプロ人材をプロジェクト単位でアサイン。YMキャリアはプロジェクト開始から終了まで、プロジェクトの進捗や業務状況を確認し、目標達成をサポートする。



### 有限会社瀬戸鉄工

樹脂成型部門を再建し、業容拡大を図りたい!

もみじ銀行 広島支店 亀迫拓海さん



「樹脂成型部門の管理と統率ができる人材が欲しい」という要望がありました。しかし、樹脂成型部門に精通している人材の採用は難しいことから、業務委託形式で即戦力を活用できるYMプロシエアリングを提案。プロ人材の活躍によって、樹脂成型部門の課題が明確化され、従業員と社長がともに課題の解決方法を自ら発見できるようになり、プロ人材が持つノウハウを社内でも活用できるようになりました。



YMキャリア 広島オフィス 坂本卓也さん



戦略人事という考え方を社内に浸透させ、組織全体の視座を高め、生産性を向上することで利益率の改善を目指すことを提案しました。当初は外部のプロ人材が現場に入ることに抵抗を感じる方もいらっしゃいましたが、「我々はみなさんの味方となり、会社をよくするために一緒に戦っていきたい」と一人ひとりにお伝えしたことで、前向きにプロジェクトが進行しました。終了時には社長だけでなく、従業員の方からも「大きく変化することができた」と感謝していただくことができました。

### 【伴走型支援とは?】

ミドル層から経営層(社長～部長クラス)の人材採用に特化した、伴走型支援サービス。企業と求職者のミスマッチを防ぐため、企業の経営課題のヒアリング(整理・分析)を行い、課題を解決するために必要な人材像を明確化。人材採用後は入社後6カ月間の企業・採用者へのアフターフォローを行い、定着化の支援も行っている。



### サカネテクノ株式会社

人材を採用する仕組みを構築したい!

山口銀行 岩国支店 林 誠二さん



創業70年を超えるサカネテクノさまは、技術の受け継ぎ手となる若手人材の育成に力を入れています。しかし、定期的に若手人材を採用する仕組みが整っていないことや、担当者が不在であることが課題となっていました。そこで、フォロー体制が手厚い伴走型支援サービスを提案し、人事部長クラスの社員の採用が実現。約1年間で新卒4名・中途13名の入社につながることで、きたと、よろこびの声をいただきました。



YMキャリア 広島オフィス 山崎浩信さん



サカネテクノさまは、事業内容はもちろん、福利厚生も魅力的な企業です。この魅力を発信できる人材がいれば、定期的な人材採用ができると考え、即戦力となる人事責任者の採用を提案しました。人材採用は、企業と求職者の双方がよいと思わなければ成立しません。今回サカネテクノさまは「この人と一緒にやってみたい」、求職者は「この企業を盛り上げたい」と思いが一致。私も「この先何十年も事業を継続させたい」というサカネテクノさまの思いを実現するために、高い意欲を持ってサポートすることができました。

ふくは海から。



職人の手彫りの河豚が「ふく」を呼ぶ  
九州最北端、関門海峡を見守る  
和布刈神社「木彫りふくみくじ」

特徴 関門海峡の名産品である河豚をかたどった木彫りのおみくじ  
寸法 36×58×21 mm  
入手方法 神社授与所または公式ホームページから  
価格 ¥500 (税込)